

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜本巣特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月28日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 岐阜本巣特別支援学校 セミナーハウス1階
- 4 参加者  
会長 本巣市青少年推進委員(欠席)  
副会長 本巣市主任児童委員(欠席)  
委員 西秋沢自治会長  
岐阜障がい者就業・支援センター雇用拡大支援員  
瑞穂市社会福祉協議会福祉総合相談センター主任相談支援専門員  
本巣市障害者基幹相談支援センター「えがお」主任相談支援員  
愛知淑徳大学講師  
岐阜聖徳学園大学教授  
希望が丘こども医療福祉センター相談支援専門員  
当校PTA副会長  
  
学校側 校長、事務部長、高等部教頭、小中学部教頭  
小学部主事、中学部主事、高等部主事
- 5 会議の概要(協議事項)
  - (1) café 和の参観利用  
意見1:生徒は、臨機応変に接客ができていてよかった。  
意見2:もう少し大きな声で元気にはきはきと接客できると、もっとよいのではないかと思った。
  - (2) 協議  
来年度へ向けての取り組みにについて  
・学校評価アンケートや今年度の取り組みの反省を踏まえて、各学部の来年度の取り組みについて協議  
・今年度のICTの取り組み  
・今年度の研究についての報告  
・今年度の高等部3年生の進路についての報告(1/28現在の状況)  
意見3:放課後等デイサービスが充実してきて、家で家族と過ごす時間が少なくなってきたように感じる。家で1人で過ごせるスキルを獲得することも大切だと考える。また、学校での経験や体験を生徒達は後々までよく覚えている。そこで、学校にて家庭で1人で過ごすスキルを体験経験していただくとよいかと思う。修学旅行でホテルで過ごした体験などは、ショートステイにて「やったことがある」という体験になっている。今後とも将来を見据えた体験経験を積めるようにして

ほしい。

意見 4 : 支援学級、支援学校、放課後等デイサービス等障がい児者に関わる各機関の連携が、今後大切になってくると思う。各機関の専門性を生かして連携できるように、本校ができることを模索して行ってほしい。県立特別支援学校の研究体制が変わるということで、各機関との連携の面でも変化を期待している。

意見 5 : 今年度の高等部 3 年生の一般就労の業種が偏っているように感じる。もっと職種を広げていく方がよいのではないかと思う。

地域での活動も行っているが、協力するのでもっと広げて行ってほしい。

意見 6 : 本校は、合わせた指導を教科に替えて取り組んでいる。教科になっても目指すことは生活全般と結びつけて指導していくことだと思う。様々な取り組みの中で事後に振り返りをすると思うが、具体的に振り返ることが大切である。その具体的なことを学校生活に活かし、生活全般においてできるようになることが重要ではないか考える。

意見 7 : ICTについてはタブレット端末があるから使うのではなく、児童生徒の指導に有効な場面で使用しているところがよかった。一方でリアルとのバランスも大切にしてほしい。

意見 8 : 学校で様々な体験経験を行ってほしい。ある学校では、「危ないから」と取り組みを仕組まないと聞いた。「できたらいいよね」という視点で、様々な体験経験を仕組んでほしい。幼いころから様々な体験経験をすることで、「やってみよう」「大丈夫」「怖くない」等一歩踏み出す勇気が湧いてくるように感じている。ぜひ、将来を見据えた学習を行ってほしい。

意見 9 : 今は、タイムカードではなくスマホで打刻するなどの職場でも ICT を活用している。だから、ICTに慣れていくことは大切だと思う。また、タブレット端末を使用することで、集中して仕事に取り組める方もいる。ぜひ、今後の ICT に慣れる学習、ICTを活用した学習を行ってほしい。

意見 10 : 現在は、キャッシュレス化が進んでいるので、そのことも教えていくことも大切であると考えます。

意見 11 : 土日も利用できる事業所は増えた。そのため、土日も家族と過ごさず事業所へ行っている児童生徒が多くなってきている。土日は家族と過ごしてほしいと思っているので、家族も支援していくことが大切である。

意見 12 : 進路未定者については、支援機関との連携は取れているのか。

→実習先の検討と並行して支援機関とも連携を行っている。

意見 13 : 在宅の方は、福祉機関等との連携は取れているのか。

→福祉機関とも連携し、本人のペースで進めている。

### (3) 製品価格の検討

- ・提案のとおり製品の価格の設定について承認を得た。

## 6 会議のまとめ

- ・第 3 回学校運営協議会では、出席した 8 名の全委員より、今年度の取り組みや来年度の方向性について忌憚なきご意見をいただくことができ、今後の学校運営に活かしていく。
- ・作業製品の価格について承認が得られた。
- ・「体験経験を大切に」というご意見を多くいただいたことを踏まえ、コロナ禍以前に取り組んでいたことも検討しながら、児童生徒が自立に向け有効であろう活動を行っていく。